

2021年 第48週（11月29日～12月5日）の感染症発生動向調査情報を送付します

<今週の内容>

- 1 管内の発生状況
- 2 発生から見る注意点
  - 1) 感染性胃腸炎の発生が続いています
  - 2) ヘルパンギーナの発生が続いています
  - 3) 手足口病に注意してください
- 3 新型コロナウイルス感染症について
  - 1) 感染再拡大警戒！感染対策の徹底を！
  - 2) 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口及び「発熱等受診・相談センター」
- 4 HIV・エイズ、B型・C型肝炎、梅毒検査の実施について

## 1 管内の発生状況

- 1) 定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症）（報告のあった全疾患）

（表1）

	疾患名	定点当たり患者数			増減 (今週-先週)
		今週	先週	先々週	
1位	感染性胃腸炎	6.00	1.50	1.00	+4.50
2位	ヘルパンギーナ	3.50	0.50	0.50	+3.00
3位	手足口病	3.00	1.50	0.00	+1.50
4位	水痘	1.00	0.50	0.00	+0.50

水痘は、管内で、定点あたり患者数が注意報レベル基準値である1.0人となっています。

- 2) 管内の全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症）

つつが虫病 男性 80歳代

兵庫県立健康科学研究所の検査情報では、つつが虫病患者1人（男性80歳代、血液及び痂皮11/29採取）から、つつが虫病リケッチア(Kawasaki)の遺伝子を検出しました。

## 2 発生から見る注意点

- 1) 感染性胃腸炎の発生が続いています

管内の感染症集団発生は報告されていませんが、兵庫県内では、48週6件（先週2件）の集団発生が報告されています。

高齢者等の施設内での嘔吐や下痢等の症状が見られた場合は、感染性胃腸炎を念頭に置き、対応をお願いします。症状消失後も1週間～1か月程度、便中にウイルスが排出されていますので、引き続き注意が必要です。

感染性胃腸炎とは（兵庫県ホームページ）

[https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/hw12\\_000000035.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/hw12_000000035.html)

- 2) ヘルパンギーナの発生が続いています

ヘルパンギーナは、発熱と口腔粘膜にあらわれる水疱性の発疹を特徴とした急性のウイルス性咽頭炎であり、乳幼児を中心に夏季に流行する。いわゆる夏かぜの代表的疾患です。

2～4 日の潜伏期を経過し、突然の発熱に続いて咽頭痛、咽頭粘膜の発赤や小水疱です。小水疱はやがて破れ、浅い潰瘍を形成して、疼痛を伴います。発熱については2～4 日間程度で解熱し、それにやや遅れて粘膜疹も消失します。

感染経路は接触感染を含む糞口感染と飛沫感染です。

特異的な予防法はありませんが、感染者との密接な接触を避けること、流行時にうがいや手指の消毒を励行することなどです。

#### ヘルパンギーナとは（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/515-herpangina.html>

### 3) 手足口病に注意してください

手足口病は口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症で、時に急性髄膜炎の合併や急性脳炎を生じます。

感染経路は、飛まつ感染、接触感染、糞口感染です。患者あるいは回復者についても、手洗いの励行（特に排便後）、保育園等ではおむつ交換後の手洗いの徹底が重要です。

#### 手足口病とは（国立感染症研究所 HP より）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/441-hfmd.html>

### 3 新型コロナウイルス感染症について

兵庫県内では、第48週は36人（先週29人）の新型コロナウイルス新規感染者で、第34週（8/23～8/29）をピークに減少が継続していましたが、小学校でクラスターが発生したこともあり増加に転じています。

これから人流が増える年末年始を控え、新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」の流行が懸念されています。12月8日時点では日本国内で4人の感染が確認されています。

変異ウイルスの疫学的に問題となる性質の変化は主に、①感染力の上昇（感染が広がりやすくなる）②毒性の上昇（重症化率が上がる）③免疫逃避、薬剤耐性の獲得（ワクチンや薬が効かなくなる）が考えられますが、現時点ではどれもよくわかっていません。

兵庫県立健康科学研究所においても新型コロナウイルス「陽性」検体について、オミクロン株の疑いのある変異株を検出するPCR検査を実施し、ゲノム解析によりオミクロン株を確定する体制を整えています。

感染防止対策は変異株であっても同様です。マスクの着用、手洗いや手指消毒、3密の回避等感染防止対策を徹底し、家庭内では定期的な換気やドアノブなど共用部分の消毒、タオルや食器などの共用を避けるなど、感染防止対策をお願いします。

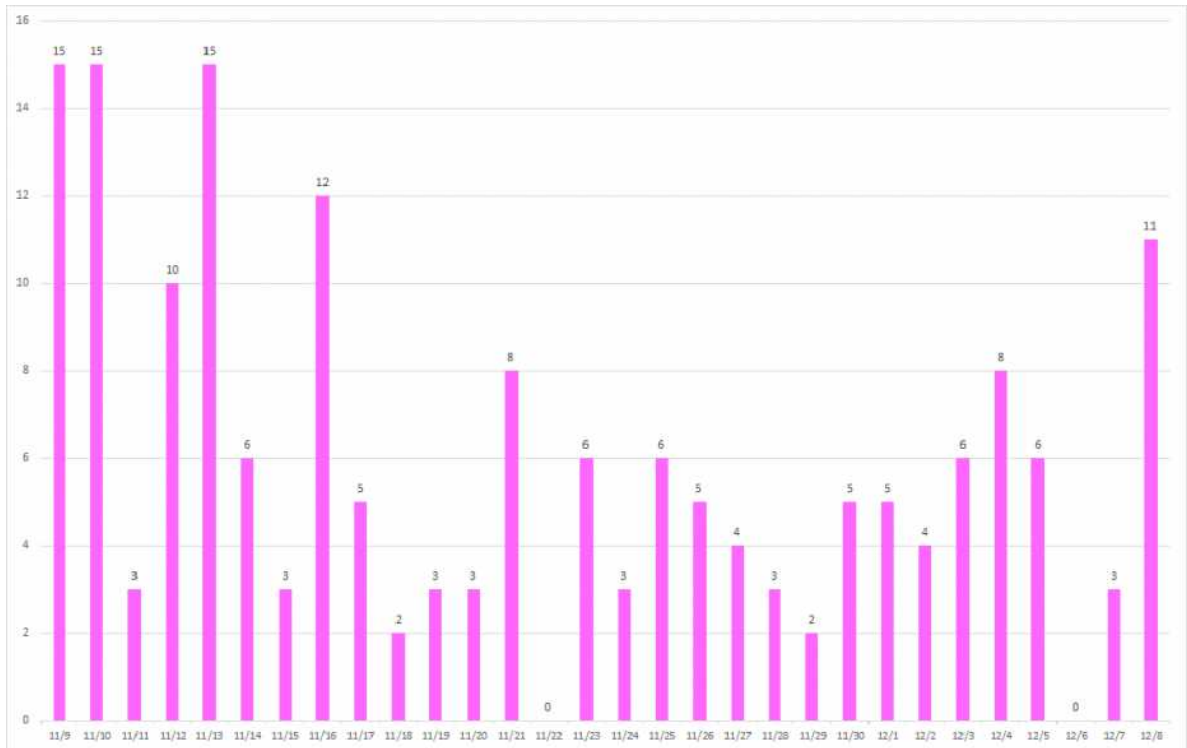
### 1) 感染再拡大警戒！感染対策の徹底を！

今後インフルエンザ流行の季節や年末年始を迎え、引き続き、感染再拡大への十分な警戒が必要です。

#### 【直近1週間平均患者数】

○直近1週間平均 : 5.7人

## 【直近1ヶ月の陽性件数の推移（11/9～12/8）】



### 兵庫県内の新型コロナウイルスに感染した患者の発生状況

[https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/corona\\_hassei\\_jyokyo.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/corona_hassei_jyokyo.html)

#### <皆様へのお願い>

落ち着いた社会生活を取り戻せるよう、感染防止対策の徹底をお願いします。

- 1 体調異常があれば、登校・出勤を控えましょう。
- 2 感染対策を徹底している飲食店を利用しましょう。
- 3 飲食時でも会話の際にはマスクをつけましょう

会食は短時間（2時間程度）にしましょう

- 4 ワクチン接種を積極的に受けましょう

ワクチン接種後も引き続き、**マスクの着用、手洗い、人と人の距離の確保**など基本となる対策の徹底をお願いします。

#### 感染拡大を予防する「日常生活」（ライフスタイル）



#### 新型コロナウイルスの感染拡大を予防する「ひょうごスタイル」の推進

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk42/hyogo-style.html>

## 2) 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口及び「発熱等受診・相談センター」

時間	機関	電話番号
平日 9:00~17:30	朝来健康福祉事務所	079-672-0555
平日・休日 24時間	新型コロナ健康相談コールセンター	078-362-9980

新型コロナウイルス感染症に関する情報については、以下のホームページ等で随時更新されています。

### 1 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症について

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

### 2 国立感染症研究所 新型コロナウイルスに関連する情報

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/2482-corona/9305-corona.html>

## 4 HIV・エイズ、B型・C型肝炎、梅毒検査の実施について

＜問合せ先・予約先＞朝来健康福祉事務所

電 話 079-672-0555

ホームページ <https://web.pref.hyogo.lg.jp/tjk08/asagoeizukensa.html>

メー ル asagohokensho-aids@pref.hyogo.lg.jp

実 施 日 12月・1月実施日 12月16日(木)、1月6日(木)、1月20日(木)